

風

かぜ カゼ

2003.8-17発行No. 60

◇はがき通信「風」がお蔭さまで60号

5年前の9月に『はがき通信』として「風」を創刊し法の風・四季の風・ちまたの風を安樂寺から皆様にお届けして参りました。どんな風が今まで寺から吹いて行ったかと大まかに調べてみると、①安樂寺、築地別院、本山等の行事関係のお知らせや②それに関連しての作法や心得③又、淨土真宗のみ教えの要である他力・信心・聴聞の正信偈、歎異抄、ご文章の中からの味わい、④そして安樂寺周辺の変容や巷の風に触れての感じを書かせてもらいました。思い返しますに5年間続けられたのも皆様の支えのお蔭です。これからもよろしくお願ひします。

◇安樂寺の山号は「円覚山」です

ある方から過日「山号」について尋ねられたことがありました。その方へのお答えに併せて皆様にもお知らせします。1) 比叡山・高野山に象徴されるように山名が寺院の別名となったタイプ。2) 鎌倉時代に山号の制が禅宗と共に中国より伝えられ(鎌倉五山)てから平地寺院にも山号を冠することが一般化しました。3) 山号は地域の特性を具象するものの例として金杉山・松林山や寺院の特性表示としての円覚山・三寶山等が挙げられます。円覚 - まどかなる悟りとは他力の信心そのものであり、有難い山号です。

◇今月の安樂寺伝道掲示板

苦労して
得たことは
身について
離れない



〒105-0014

東京都港区芝1-12-18 安樂寺 03-3451-1509